≪共に学ぶ≫ 第 21 回市民教養講座（2021, No1）

テーマ:「水生動物と環境問題」

日時:6 月 27 日(日)　10:00～12:00

会場:　旧若葉台西中学校木工室

講師:石綿進一氏（神奈川工科大学客員研究員）

国交省河川水辺の国勢調査スクリーニング委員・(元) 神奈川県環境科学センター

定員：40 名（先着順、申込みは VOSC 事務所 921-0404）

受付期間 6 月 7 日～、定員になり次第締め切り

参加費：無料（コロナウイルス感染防止対策のため、マスク着用・上履き持参下さい。
入口で消毒・検温を行い、密を避けるため間隔着席です。）

これまで、水生生物と環境問題を調べてきました。そこで得られたことについてお話します。当初は、水質との関係を調べてきましたが、調査研究の後半は、外来種、河川水温の上昇について多くの時間を割いてきました。それは、地球上には、いろいろな生物がいて、それらがお互いに影響を及ぼしながら生活していることを実感してきたからです。

この講演会では、神奈川県内で調査してきた以下の項目についてお話ししたいと思います。

川の生態系、河川水温の上昇と水生動物、オオシロカゲロウ、外来生物、外来の貝とホタル。

オオシロカゲロウの幼虫

成虫は志賀直哉の短編「豊年虫」に描写されよく知られている。この幼虫は、本州、四国、九州の大・中河川の比較的清澄な水域に生息する。

主催：電子顕微鏡でミクロを観る会(連絡先　921-0404)

(本講座は東京応化科学技術振興財団の科学教育の普及啓発助成事業の助成を受けています)

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツ・文化活動を

VOSC 若葉台スポーツ・文化クラブ（若葉台 4 丁目 34 番 1、VOSC 事務所 ☎ 921－0404）